

ななむら

第91号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和5年1月1日現在

世帯数 523世帯

人口 1,405人

(男651人、女754人)

今年は『卯年』飛躍の年に!

照来地区の皆さま、新しい年が始まりました。本年も皆さまにとりましてすばらしい年になりますように祈念申し上げます。また、本年も公民館事業に格別なるご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

ところで、2023年の世界はどうなるのでしょうか? 「ウクライナ情勢は再爆発の恐れ」「台湾情勢は中国からの揺さぶり激化」との見方があるようですが、このことは「対岸の火事」ではなく、日本も巻き込まれる可能性は大きく何とかならないものかと思っている昨今です。日本でも、これらの情勢に加え、ウクライナ情勢に伴う物価の上昇、まだまだ収まらないコロナ等々先行き不透明な状況となっています。今年の大河ドラマ「どうする家康」ではありませんが、「どうする世界の指導者たち」と思わず言いたくなります。

さて、今年、十干では最後の「癸(みずのと)」と十二支では4番目の「卯(う)」の組み合わせの「癸卯(みずのとう)」です。芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長することから、新しいことに挑戦する最適な年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するともいわれています。さらに、うさぎはたくさんの子を産むことから豊穰、子孫繁栄の年だともいわれています。なんとなく、希望が持てそうな年になりそう? いや、なってほしいと願うばかりです。

<ちょっと恥かしい話> うさぎは、古くから伝説や民話、童謡などの題材となってきました。伝説では、日本最古の史書でもある「古事記」に「因幡の白兎」がありますし、「うさぎとかめ」といったコミカルな民話もあります。



そして、童謡では「ふるさと」があります。私は、恥かしい話ですが、子どもの頃、この歌詞の冒頭「うさぎ追いかの山 小鮎釣りしかの川」の「うさぎ追いかの山」を「うさぎ美味し」だと思い込んで歌っていました。多分、私だけでしょうね! (笑)

ど
う
す
る
照
来



鳥取県が神話「因幡の白兎」伝承の地としてPR

先日、『12年ぶりに巡ってきた干支の「卯年」にあやかり、鳥取県は、神話「因幡の白うさぎ」の伝承地としてさまざまな策で魅力発信事業に乗り出す。』という新聞記事を見つけました。

既に県内の主要駅前に、うさぎ年ではなく、「白うさぎ年」と主張する大型広告を設置しているようですし、「古事記」に記されている由緒正しい神話「因幡の白うさぎ」の舞台が鳥取県であることを知ってもらおうと「白うさぎ会議(仮称)」まで立ち上げているようです。

タジャシ好きの平井知事ですが、今までにも「蟹取県」だとか「星取県」、そして鳥取県だけに「スタバ」がなければ「スタバはなくともスナバがある」といった言葉遊びが、鳥取県の知名度をあげていることは素晴らしいことだと以前から感じていました。

今回も、こうした取り組みをすることで県全体が盛り上がると思われま。照来でも何かできないか、皆さん考えましょう!



照来すこやかクラブが初打ち!

1月18日(水) 照来すこやかクラブのグラウンドゴルフ初練習が健康公園「すこやかドーム」で行われていました。個人では、既に初打ちされているようですが、28人が参加され試合形式での練習をしていました。しばらく見学させていただきましたが、大変上手です。何と言っても、打ったボールが真っ直ぐに転がります。私も年に1回だけグラウンドゴルフをしますが、真っ直ぐ転がることはありません。また、距離感が素晴らしく、ボールを打つ力加減がすばらしい! さすが、各種大会で上位に入る方々は違うなと感じました。



ビーチコーミングに興味ありませんか！

「ビーチコーミング」を公民館講座でやってみてはどうかかなと思っています。ただ、内容や講師も決まっています。山陰海岸ジオパークの海岸



は、ビーチコーミングしてもいいことだけは確認できています。



～ビーチコーミングとは！～

ビーチコーミングとは、海岸や浜辺に打ち上げられた貝殻や流木等の漂着物を収集することです。直訳すると、海岸や砂浜 (beach) を櫛 (くし) でとく (combing) という意味になります。

ビーチコーミングは、欲しいものを探すことに夢中になれる、海岸さえあればできる、まだ見ぬ漂着物を求めて旅をする理由ができる、などの魅力があり、年代や性別を問わず世界各地で趣味として楽しまれています。

今年は開催します！



照来地区卓球大会

- ◆開催日 令和5年2月11日 (土)
- ◆場 所 健康公園体育館
- ◆主 催 スポーツクラブ21照来

子どもたちに声かけを！

現在、照来小学校では、「あいさつ運動」に力を入れています。私は子どもの「見守り」に参加していますが、子どもたちは大変元気で色んな話をしてくれます。そのため、なかなか家にたどり着けません。大切なことだと思っています。こうしたことが、地域が子どもを守ることにつながるのではないのでしょうか。



皆さんも、子どもたちに会ったら積極的に声かけをしてください。

照来の歴史(45)

『塩山に城跡？』

塩山に城跡？これは、私が勝手に城跡ではないかと思っているだけのことです。塩山に城があったというような史実は、どの歴史書を見ても出てきません。

では、なぜ私が城跡ではないかといいますと、子どもの頃「ここに城があったで！」と聞いていたからです。

～城跡ではないかと思われる根拠～

- ◆照来が一望できる位置にあること
- ◆地形的に見ても城跡の形状であること
 - ・中辻側が急斜面となっており攻めにくい形状であること
 - ・小高い場所にあり、「曲輪(くるわ)」らしき平地があること
 - ・空堀や塹壕らしきものもあること (曲輪：城の周囲にある土石の囲い)
- ◆山陰道の間道(切畑～中辻～塩山～前)であり、往来があったと思われること
- ◆中辻との争いで六万人が亡くなったとされる民話と伝説の「六万坂」や「木戸口」といった地名が城跡と思われる下にあること
- ◆古老からこの場所は「城跡」「城のコセ」と聞かされていること
- ◆字名が「丸山」であること

城跡と言っても城があったわけではなく、戦国時代に見られる、村を守るための物見櫓のようなものではないかと思っています。



頂上(曲輪?)



全景



全景(中辻側より)



空堀?